

# 進行上の注意 (北信大会本戦 卓球競技)

## <団体戦>

1 オーダー用紙は3枚複写となっている。1枚目は本部記録用、2枚目は相手校との交換用、3枚目は自校記録用となる。

2 オーダー交換は試合コートで原則として監督が行う。  
試合番号が若いチームの監督が進行、反対が記録の係とする。

\* オーダー交換の際の注意事項

★試合コートに各チーム移動する。(試合番号の若いチームが、『対戦結果ボード』の設置した側とする)

★まず監督が三枚複写の二枚を持って、お互いに試合コートで交換する。

★『整列』の指示があったら、両チームは並ぶ。(選手はユニフォーム姿で整列する)

進行の監督に行っていたきたいこと

① オーダー交換をすましたのち、チームを整列させる。(1回戦のみ一斉で挨拶する)  
(各校の1番が進行の監督側にくるように整列する)

② キャプテン同士、握手・トスをさせる。トスをして勝ったほうのチームが1・3・5番の主審、負けたほうが2・4番の主審とし、副審はその逆とする。

③ 審判を確認しオーダーを発表(相手校の1～5をコールし、次に自校の1～5をコールする)し、挨拶させ、試合を開始させる。(コールされた選手は、一歩前に出て相手にゼッケンを見せ、挨拶をする)

④ 3点先取した時点で試合をとめる。(注意 3台以上で進行しているので、1・2・4を取ったとしても、3のダブルスが試合中であればその試合は行う)

⑤ 試合が終了したら、整列、挨拶させる。(選手はユニフォーム姿で整列する)

記録の監督が行っていたきたいこと

① 本部席より記録用台紙を持っていく。

② 2枚目を記録用台紙に貼る。

③ 試合スコアを正確に記録する。

④ 試合終了次第、お互いの監督からサインをもらう。

## 勝ったチームの監督が本部に記録用紙を提出

3 すべて3点先取で行う。

4 試合はおよそタイムテーブルによって行う。

5 時間の関係上、5台一斉に使用する試合もある。また、長引いている団体戦については、空いている台を指定する場合もある。

6 フロアにすることができるのは、登録選手(必ずユニフォームにゼッケンをつける)・監督・登録されたアドバイザー・審判員として試合台数の生徒(ゼッケンはつけない)とする。

7 監督・アドバイザー・選手は座って応援する。

8 試合間に空き台での練習は禁止とする。

9 ゲーム間の水分補給は認めるが、試合進行に影響のないようにする。また床にこぼさないように配慮する。

## <個人戦>

★個人戦でのゲーム間のアドバイスは、一切認めない（ギャラリー・階段等からも）。

違反した場合には、違反者の退場及び選手の失格もありうる。

- 1 審判の割り当ては第1試合のみ、タイムテーブルにそって審判をお願いします。  
（1日目のタイムテーブル右端の選手）第2試合以降は、敗者審判制とします。
- 2 第1試合は、タイムテーブルにそって、女子試合番号1-1から1-24までの選手が台に入る。試合番号1-25～1-32の選手は、選手招集所に集合する。これ以降は放送により選手招集所に集まる。
- 3 試合に負けた選手は本部席に試合の結果を報告する。対戦表とともに、試合球の入ったかごを持ってくること。試合結果の報告は、以下を参考にする。  
**「試合番号1-〇番の試合は、3-〇で△△中の□□さんが勝ちました。」**
- 4 試合に負けた選手はその台の審判を行う。勝った選手は、次の試合の放送を待つ。
- 5 2回戦以降の試合を勝ち抜いた選手は、2階に上がらず、ベンチ（選手招集所）にて次の試合を待つようにする。（変更の場合は、放送にて連絡します）

## <その他>

○試合前の練習は、団体戦・個人戦ともに1分間とする。

→ 審判は、ストップウォッチで計測し、時間になったら試合を開始してください。

## <新型コロナウイルス感染症対策について>

- 1 チェンジエンドは行わない。よって練習を開始する前にトスを行い、サーブ・レシーブ・エンド（コート）をきめる。
- 2 ラケット交換は、行わず相手に見せるだけにする。その際、よく相手に見えるように出すこと。
- 3 競技中以外は必ずマスクを着用するようにし、ゲーム間のアドバイス時はタオルで口を覆うこと。
- 4 **選手の声出しは、基本的には行わない。**
- 5 応援は拍手のみとし、組織的な応援や円陣は行わない。（立ち膝による応援は可とする）
- 6 タオルは台の下にかけず、持参したラケットケースやかごなどの中に入れるようにする。
- 7 試合終了後の握手は行わない。